KEIYO

ドライブレコーダー AN-R009

取付/取扱説明書

安全上のご注意

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用のまえによくお読みください。
●お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	⚠注 意
この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

作業をはじめる前に

⚠警 告

●**記録作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…**
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

結線の注意

⚠警 告

●**コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

●**接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…**
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

●**エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…**
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。

⚠注 意

●**正規の接続をする…**
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。

●**コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…**
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

●**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

異常時の処置について

⚠警 告

●**故障のまま使用しない…**
故障の状態でご使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談してください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

●**異常のまま使用しない…**
万一煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談してください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

●**ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…**
ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズをご使用してください。規定容量以上のヒューズをご使用すると火災の原因となります。

取り付け場所について

⚠警 告

●**エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…**
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

●**本製品を次のような場所に取り付けない…**
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。

⚠注 意

●**雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…**
本製品に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。

●**振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…**
はずれて、けがや事故の原因となることがあります。

●**直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本製品の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…**
本製品内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠注 意

●LED式の信号機、テールランプ、ストップランプ、蛍光灯などはLED制御の性質上明かりが点滅または消灯した状態で録画される場合があります。
●他の無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
●本製品のケースを取り外さないでください。ケースを外すと内部の部品が破損することがあり保証の対象外となります。
●ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。また、録画された画像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画として活用していただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
●映像の未録画、録画されたデータの破損等によるあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
●本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用下さい。本製品は本来の使用目的以外では使用しないでください。
●本製品は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。
●本製品の仕様は改良のため予告なしで変更することがあります。
●記録システムの仕様により、一部記録されない時間が発生することがあります。

1．製品仕様

項目		仕様
共通	液晶モニター	2.4 型（アスペクト比 4：3）
	カメラ	130 万画素 CMOSセンサー
	映像画角	16：9ワイド画面：水平85 度 垂直45 度 4：3画面：水平62 度 垂直45 度
	メモリーカード	micro SDカード（4～32 GB、CLASS10対応） micro SDカード4 GB同梱
	マイク・スピーカー	あり
	USB端子	USB 2.0
	内蔵電池	リチウムポリマー電池（3.7 V 400 mAh）
	画像サイズ	1080 FHD*/1080 p*/720 p/WVGA/VGA
ドライブレコーダーモード	記録方式	AVI
	フレームレート	30 fps/25 fps*
	露出	マニュアル（+2.0～−2.0）
	ホワイトバランス	オート
	動体検知	ON/OFF
	ズーム	最大4 倍（デジタル）
	録画時間（1ファイル）	1分**・2分**・3分**
	Gセンサー	OFF/2G/4G/8G

※画像サイズにより変わります。 ※※撮影条件によっては短くなります。

■録画時間

画像録画時間は使用するmicro SDカード、micro SDHCカードによって異なります。また、撮影条件によっても増減します。

録画可能時間（推定）

SDカード容量	VGA	WVGA	720 p	1080 p	1080 FHD
4 GB	0.5 時間	0.5 時間	0.4 時間	0.3 時間	0.25 時間
8 GB	0.9 時間	0.9 時間	0.8 時間	0.6 時間	0.5 時間
16 GB	1.8 時間	1.8 時間	1.6 時間	1.2 時間	1.0 時間
32 GB	3.6 時間	3.6 時間	3.2 時間	2.4 時間	2.0 時間

■その他機能

●ビデオファイルの再生機能
●AV OUT機能
HDMI出力なので劣化のない画像をデジタルTVで再生可能（専用ケーブルはオプション）
●内蔵マイク・スピーカー

2．構成部品

取付/
取扱説明書
（保証書）

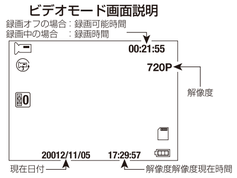
3．各部の名称

① REC/OKボタン 再生モードでは一時停止ボタン
② MENUボタン
③ 電源ボタン
④ USB差込口
⑤ MODEボタン
⑥ UPボタン（再生モードでは巻き戻り）
⑦ DOWNボタン（再生モードでは早送り）
⑧ HDMI差込口
⑨ スピーカー
⑩ スタンド取付けネジ
⑪ リセットスイッチ（内部）
⑫ マイクロSDカード差込口
⑬ 電源入力（DC－IN）
⑭ 内蔵マイク
⑮ インジケーター

仕様は予告なく変更される場合があります。

4．機能

ビデオモード画面説明



再生モード画面説明

画面表示アイコンの説明

❚❚	一時停止		電池残量		カード認識済
▶	再生		充電不足		カードなし
OK：❚❚ OK：▶	状態		ファイル閲覧	0	露出表示
	外部電源接続	1 2 3			録画（数字は録画時間）
	G-センサー起動				

※動画録画モードで録画中にMODボタンを押すと保護録画モードになり、録画データは保護されます。
記録時間設定分録画をしたら、自動的に録画解除されます。

5．取付注意

取り付けの注意

⚠注 意

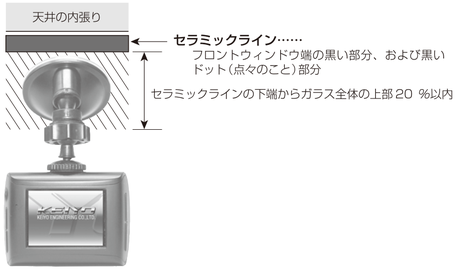
●**必ず付属の部品を指定通り使用する…**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。

●**車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない…**
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。

●**車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける…**
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

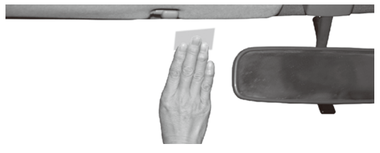
5．取付注意（続き）

●製品本体は自動車のフロントガラスに取り付けてください。
●本体がルームミラーに接触していないか確認をしてください。
●運転手の視界の妨げになっていないか確認をしてください。
●保安基準に適合するようにフロントガラス全体の上部20%以内の範囲に取り付けてください。



●凹凸部には取り付けないで下さい。
●アンテナ付近に取り付けると電波が干渉する恐れがあります。
●シガープラグがしっかりと挿入され、電力供給されているかを確認してください。

6．自動車への取り付け方法



1．「5．取付注意」に従い最適な位置を決め、フロントガラスの水分、油分を完全に拭き取ってください。

2．ドライブレコーダーカメラ部を上に向けて、付属品のmicro SDカードをラベル表示が見える状態にして本体の差込口へカチッと音がするまで確実に奥へ挿入してください。
無理に誤った方向に入れた場合、付属品のmicro SDカードや本機の故障の原因になります。

6．自動車への取り付け方法（続き）

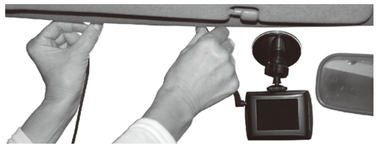
3．スタンドにカメラ本体を取付てください。

4．フロントガラスの汚れを拭き取った位置にスタンドの吸盤部を貼り付けてください。

5．スタンドの脱着レバーを降ろしてスタンドを固定してください。

6．本体の角度を決めてからネジを廻して締めてください。

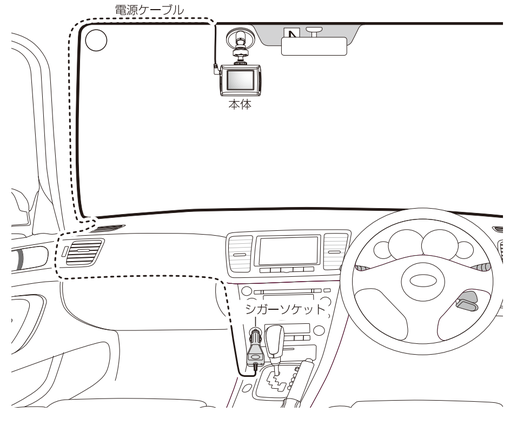
7．電源ケーブルを本体の外部電源DC IN差込口に差し込んでください。



8．本体に接続した電源ケーブルは視界の妨げにならない様に、フロントガラスの内張りに収納して取り付けてください。

9．シガープラグを自動車側のシガーソケット口へ挿入してください。

7．配線図



8．使用方法

電源ケーブルのシガープラグを自動車側のシガーソケット口に挿入し、自動車のACC電源をONまたは、エンジンキーをスタートさせてください。インジケーターが青く点灯し録画が開始します。
常時録画となるため録画を停止させたい場合は、REC/OKボタンを押してください。

- ●REC/OKボタンを押すと録画が停止します。
- ●再度録画を開始する時は、REC/OKボタンを押してください。
- ●REC/OKボタンを押すたびに、録画の停止／開始ができます。
- ●電源ケーブルから電源が供給されなくなった時は、約10秒後に自動で録画が停止して電源が切れます。
- ●この製品の録画は常時上書きですので、SDカードの記録容量がいっぱいになると古いデータから順次上書きされて削除していきます。但し、データに保護が掛かっている物は削除せずに残ります。データの保護方法は録画中にMODEボタンを押してください。「カギ」マークがでてその録画データは保護されます。
  また、Gセンサー機能を起動（2G・4G・8G）しておくと、その衝撃を感知した時に録画していたデータは自動的に保護されます。

使用時について

⚠警 告

- **●運転中に操作をしない…**
  画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **●走行中にモニターを見ない…**
  運転者がモニターを見るときは必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にモニターを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

⚠注 意

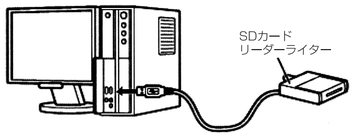
- **●micro SDカードの抜き差しは、シガープラグをシガーソケットから取り外す。又は、車両エンジンキーでシガー電源を切った状態で行ってください。電源が入ったままmicro SDカードを抜き差しすると、録画されていたファイルが壊れてしまう場合があります。**
  ドライブレコーダーのインジケーターが消えていることを確認してください。一部の外国車両では、エンジンキーでエンジンを切ってもシガー電源が切れない場合があります。
- **●micro SDカードの抜き差しは、濡れた手で行わないでください。**
  また、micro SDカードの端子部分は触らないでください。接触不良の原因となり、画像の記録が出来なくなる場合があります。

8．パソコンで映像を見る場合

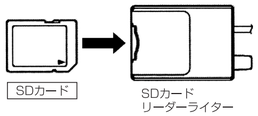
1）画像再生ソフト（Media Player）を搭載したパソコンとご使用のSDカード規格に対応したSDカードリーダーライターをご用意してください。
※ご使用のSDカード規格に対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、これらの準備は必要ありません。

9．パソコンで映像を見る場合（続き）

2）SDカードリーダーライターをMedia Playerがインストールされているパソコンに接続する。



3）micro SDカードを付属のSD変換アダプターに押し込みSDカードをSDカードリーダーライターに挿入する。
※SDカードリーダーライターの種類で、micro SDカードをそのまま押し込めるタイプもあります。



本製品にはミニUSBコネクター差し込み口があります。付属のUSBケーブルを使いパソコンに直接録画したデータを転送したり再生したりする事もできます。

10．市販品のモニターと接続して使われる場合

1）HDMI入力があるモニターを用意してください。
2）製品本体のHDMI差込口とモニターのHDMI入力にHDMIケーブル（オプション部品）を差込んでください。
3）本製品の電源を入れ、MODEボタンで再生モードにしてください。
4）モニターの外部入力（HDMI入力）に合わせると録画した映像と画像を見ることが出来ます。

11．メニュー画面

画像停止状態からＭＥＮＵボタンを押すとメニュー画面に変わります。メニュー画面になっている時は映像の録画は行われません。
メニュー画面は表示モードによって表示メニューが変わります。

ビデオモード

再生モード

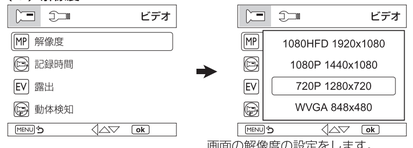
設定モード

メニューから戻る場合はMENUボタンを１回（項目選択時）か２回（項目未選択時）押す事によって戻ります。

12．メニュー画面の設定

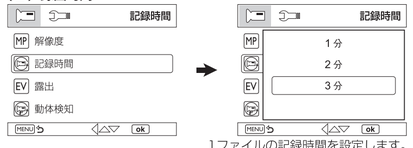
Ⅰ．【ビデオモード】

（１）解像度



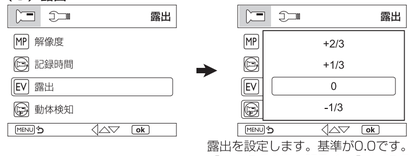
画面の解像度の設定をします。

（２）録画時間



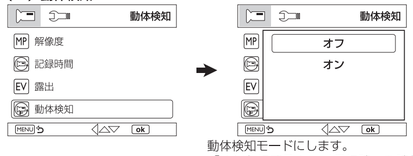
1ファイルの記録時間を設定します。

（３）露出



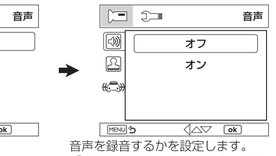
露出を設定します。基準が0.0です。
「＋」に行くほど明るく、「－」に行くほど暗くなります。

（４）動体検知



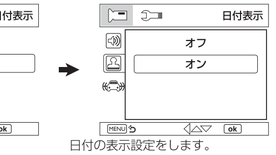
動体検知モードにします。
「オン」にするとカメラに映った映像に変化があれば録画を開始します。
約20秒間動きが無ければ止まります。
（通常はオフです）
※被写体に動きが無くても画像に変化があれば動体検知は働きます。

（５）音声



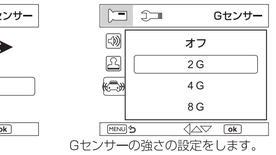
音声を録音するかを設定します。
「オン」にすると音声も録音します。

（６）日付表示



日付の表示設定をします。

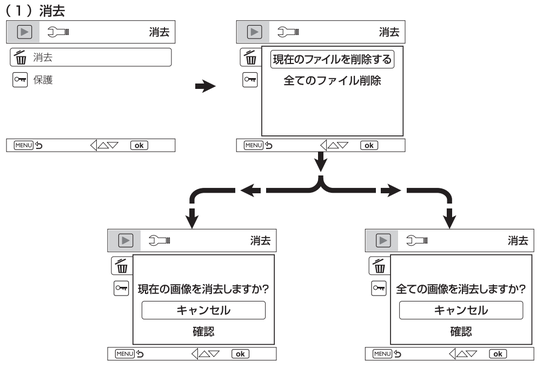
（７）Gセンサー



Gセンサーの強さの設定をします。

Ⅱ．【再生モード】

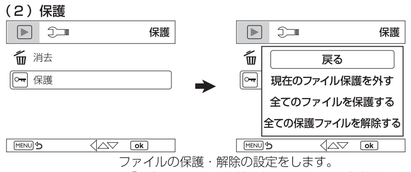
（１）消去



「現在のファイルを削除する」を選択した場合

「全てのファイル削除」を選択した場合

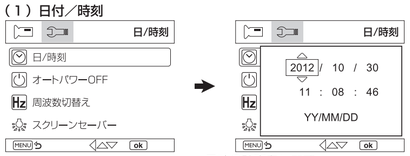
（２）保護



ファイルの保護・解除の設定をします。
「現在のファイルを外す」　：現在選択されているファイルの保護を外します。
「全てのファイルを保護する」　：記録されているファイル全てを保護します。
「全ての保護ファイルを解除する」：保護されている全てのファイルを保護解除します。

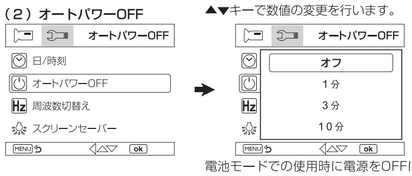
Ⅲ．【設定モード】

（１）日付／時刻



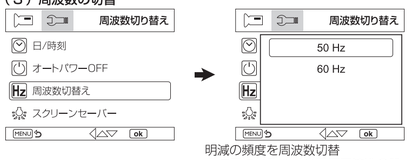
日時の設定をします。
MODEキーで年・月・日・時・分・秒・表示形式を切替えます。
▲▼キーで数値の変更を行います。

（２）オートパワーOFF



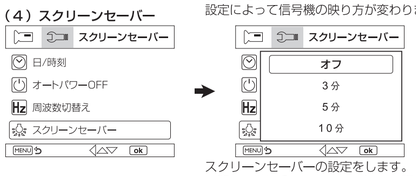
電池モードでの使用時に電源をOFFにする時間の設定をします。

（３）周波数の切替



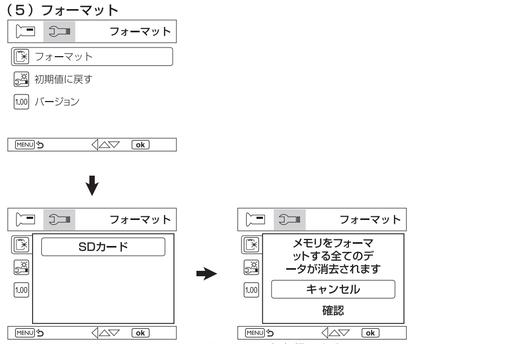
明滅の頻度を周波数切替
ご使用になる地域の電源周波数の設定をします。
設定によって信号機の映り方が変わります。

（４）スクリーンセーバー



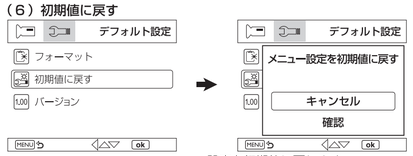
スクリーンセーバーの設定をします。
設定した時間の間、操作しないと画面が消えます。
設定は電源をOFFしても保存されています。

（５）フォーマット



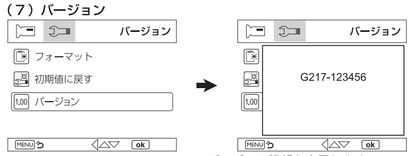
フォーマットを行います。
確認を選ぶと選択されたメモリをフォーマットします。

（６）初期値に戻す



設定を初期値に戻します。

（７）バージョン



バージョン情報を表示します。

KEIYO 株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル
TEL：03-3431-8194（サービスセンター）
受付時間 月曜日～金曜日
10：00～12：00　13：00～16：00
（土・日、祝祭日、年末年始を除く）